

新型コロナウイルス感染症の 拡大防止チェックシート



【スポーツジム等】

確認項目	チェック欄
1. マスクの着用・手洗いの徹底	
従業員や利用者にはマスク着用の徹底を周知し、着用していない場合は配布等に努めている。	
消毒備品等を各所に設置し、従業員や利用者には手洗いや手指消毒、咳エチケットの徹底を周知している。	
タオル等を共用しない、ユニフォームや衣服をこまめに洗濯するなど、衛生管理を徹底している。	
2. 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける行動	
3密が予想される場合、入場者数・滞在時間の制限等を行っている。	
集団に指導するエクササイズ等は、少人数で実施している。	
適宜、ドアや窓を開けたり、換気設備を適切に運転・管理するなど、定期的な換気を行っている。	
従業員の休憩室等ではできる限り換気し、対面で食事や会話をしないようにしている。	
3. ソーシャルディスタンスの確保	
対面が想定される場所へのパーティションなど、遮る物を設置している。	
支払い時のキャッシュレス決済導入などで接触機会を低減している。	
喫煙ブース内での対面会話の禁止や人数制限等、利用方法について注意喚起を行っている。	
4. 施設の清掃・消毒	
複数の人が触れる場所や物品を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒するか、または個人が所有する物品を持参してもらっている。	
シャワールーム、更衣室、トイレ周り（蛇口やドアノブ含む）は、定期的に拭き上げ消毒を実施している。	
使用済みマスク等は、ビニール袋に入れて縛るなど、密閉して捨てるようにしている。	
清掃・消毒・ゴミ回収は手袋・マスクを着用し、事後に手洗い・手指消毒を行っている。	
5. 利用者・従業員の体調管理	
発熱や咳などの症状がある方は、入場をご遠慮いただくようお願いするなどの対応を行っている。	
熱中症等の体調悪化を防止するため、休憩をこまめにとり、マスクを外す時間を設けている（休憩中の会話は控えるよう周知している）。	
毎日、従業員の体温、体調を確認している。	
体調不良の従業員に休養を促し、勤務中に体調不良になった者はただちに帰宅させている。	
管轄の保健所の確認や利用者の把握など、感染者等の発生に備えた取組を行っている。	
6. その他	
重症化リスクが高い利用者には、利用時間帯の限定等を行っている。	
感染拡大防止に関する注意事項（手洗い・手指消毒・マシンの消毒等）のアナウンスを定期的実施している。	
BGMの音量を抑え、大声での指導や会話を控えるよう周知している。	
マシンの汗拭きタオルは共用を避け、消毒剤や使い捨てペーパーを使用している。	
給水器は直接の利用を避け、使い捨てのコップを使用し、レバーをこまめに消毒している。	
業種別ガイドラインに基づく対応を実践している。	
陽性者や濃厚接触者が発生した場合の対応ルールを作成し、従業員に周知している。	